

# ゆるやかな結合が力に

## 戦争法 廃止へ

### 今言わなければ

安保法制を廃止に追い込むためにも、あれは一体なんのための法制かというところに立ち戻って議論することが必要だと思えます。

憲法は、「たたかわない」というところから始まっています。もう一度、この原点に戻り、たたかわないためにどうするのか、という発想で議論を切り替えていくことが大事です。安倍政権

演出家 鵜山 仁さん



うやま・ひとし 1953年、奈良県生まれ。文学座演出部所属。2007年から約3年間、新国立劇場の演劇芸術監督

るにわれわれを連れていくようにしています。

「総議論」がいい

安倍首相が新たに持ち出した「1億総活躍社会」というスローガンの

は、そこを詭弁でごまかし、憲法をなし崩しにして、全く似て非なること

も、その「行き先」はもう決まっています。異論は

仕方がありません。

僕らむしろ、「総議論」

の方がいい。人それぞれの意見や価値観は違って

認めないという発想から出たものですよ。1億総なんていう考え方は、

くのが人生です。安倍首相とはどうにも人生観を共有できない気がします。

大きな問題提起

どうぶつかり、新たにどういう価値観を創造していくかが大事。迷いや矛盾を抱えながら生きていくのが人生です。安倍首相とはどうにも人生観を共有できない気がします。経験や実践の蓄積は、野党連合ともつながって、大きな力になっていくと思えます。

共産党の「国民連合政府」の提案は、安保法制

僕も呼びかけ人に加わった「安保法制と安倍政権の暴走を許さない演劇人・舞台表現者の会」は、賛同者が1200人を超えました。多くの演劇人が初めて街頭に立ち、安保法制反対の「サインレント・スタンディング」にも取り組みました。小さな志が重なって大きなうねりになった。こういう運動の積み重ねが社会を変えていく原動力になるんですね。市民のゆるやかな結合の

聞き手 寺田忠生  
写真 石塚康之